

# 第16回日本ウーマンズヘルス学会学術集会

メインテーマ

## あらためて日本のお産を考える

会期 平成29年8月5日(土)

会場 リーガロイヤルホテル東京

大会長 久米美代子  
(いわき明星大学看護学部・学部長)

### 特別講演

『Achieving balance between childbirth experience and medical risk:  
birth culture, interprofessional education and collaborative models of care』

Allison Shorten

(School of Nursing, University of Alabama at Birmingham,  
PhD, RN, RM, FACM, Professor)

### 教育講演

『STORY』

竹内正人(産婦人科医)

### シンポジウム

『母と子の次の50年に向けて』

「日本の出産の現状より、より望まれる安全な分娩を目指すためには？」

安達知子

(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター 愛育病院  
副院長・産婦人科医)

「助産の未来」

鈴木久美子(いわき明星大学看護学部・講師)

「妊娠・出産・育児期の父親の役割」

竹原健二

(国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部・研究員)

「出産時の危機に備えたトレーニングの現状」

中村隆一郎

(レールダルメディカルジャパン株式会社・看護教育事業開発マネージャー)

### 【学術集会参加費】

会員 6,000円  
非会員 7,000円  
学生 1,000円(院生を除く)  
懇親会 8,000円

### 【学術集会事務局】

いわき明星大学看護学部内  
Mail: whseditor@iwakimu.ac.jp

<http://www.whs.jp/>

